

祝卒業「平成27年度卒業式」

3月11日(金)、大阪狭山市「SAYAKAホール」において、平成27年度卒業式が執り行われました。各クラス代表者への「卒業証書」授与に引き続き、各種表彰・認定証等の授与が行われました。また、ご出席いただいた来賓の方からは、卒業生への励ましの祝辞を頂戴し、最後は卒業生を代表して、自動車整備科 谷澤 亜香君が、感謝の言葉を述べて締めくくりました。

卒業式後の謝恩パーティーでは、仲間同士で写真を撮ったり、ゲーム大会等で大いに盛り上がりました。卒業生の皆さん、これから社会人としてのご活躍を祈念しています。

卒業生数 自動車整備科155名 一級自動車整備研究科 25名 自動車研究開発科 17名 総数 197名



卒業証書授与式(大阪狭山市SAYAKAホールにて)

卒業式後の謝恩パーティー

表彰者 紹介	
ホンダ学園理事長賞 一級自動車整備研究科 4年1組 桜谷 亮真	大阪府知事賞 自動車整備科 3年1組 瀧田 康平
日本自動車整備振興会連合会 会長賞 自動車整備科 2年4組 竹内 雄飛	全国自動車学校整備専門学校協会 会長賞 自動車整備科 2年2組 上中 直樹
一級自動車整備研究科 4年1組 山野 俊文	一級自動車整備研究科 4年1組 山野 俊文
大阪府専修学校各専修校連合会 理事長賞 自動車整備科 2年2組 大橋 裕也	自動車整備科 2年2組 大橋 裕也
自動車整備科 2年3組 吉田 達生	自動車整備科 2年3組 吉田 達生
自動車整備科 2年3組 関川 弘達	自動車整備科 2年3組 関川 弘達
自動車研究開発科 3年1組 浅野 誠之	自動車研究開発科 3年1組 浅野 誠之
ホンダ学園助学会 会長賞 一級自動車整備研究科 4年1組 山野 俊文	一級自動車整備研究科 4年1組 山野 俊文
自動車整備科 2年4組 津村 知花	自動車整備科 2年4組 津村 知花
自動車研究開発科 3年1組 泉原 光太	自動車研究開発科 3年1組 泉原 光太
一級自動車整備研究科 4年1組 泉原 博之	一級自動車整備研究科 4年1組 泉原 博之
努力賞	
自動車整備科 2年1組 上田 翔	自動車整備科 2年1組 上田 翔
自動車整備科 2年2組 井上 拓也	自動車整備科 2年2組 井上 拓也
自動車整備科 2年2組 岡本 唯花	自動車整備科 2年2組 岡本 唯花
自動車整備科 2年2組 井上 真哉	自動車整備科 2年2組 井上 真哉
自動車整備科 2年2組 吉田 航平	自動車整備科 2年2組 吉田 航平
自動車整備科 2年3組 藤田 明	自動車整備科 2年3組 藤田 明
自動車整備科 2年3組 木戸 駿秀	自動車整備科 2年3組 木戸 駿秀
自動車整備科 2年4組 山縣 雅仁	自動車整備科 2年4組 山縣 雅仁
自動車研究開発科 3年1組 吉備 亮太	自動車研究開発科 3年1組 吉備 亮太
自動車研究開発科 3年1組 山本 晋司	自動車研究開発科 3年1組 山本 晋司
一級自動車整備研究科 4年1組 広瀬 祥伍	一級自動車整備研究科 4年1組 広瀬 祥伍

二輪ドライブチェーン講話開催



チェーンカッターを使用した実技講習の様子

2月8日(月)、「特別講話」として、アールケー・ジャパン(株)より市川様をお迎えして「二輪ドライブチェーン講話」を実施しました。

今回の講話では、ドライブチェーンの開発秘話やその特徴、ご自身のライダー時代のレース体験を通してのメンテナンスのポイント等、幅広くお話して頂きました。

また、講話の最後にはチェーンカッターを使用した実技講習も行われ、参加した学生は実践的な講話にメモをとるなど積極的に取り組んでいました。

「元ワークスライダー 宮城氏」による安全運転講話 開催

2月10日(水)、各科1年生を対象に「安全運転講話」を開催しました。この講話は、将来、自動車業界に関わる者として、交通社会人の自覚と行動を身に付ける事を目的に毎年開催しています。

講師にMotoGPの解説でお馴染みの、元ワークスライダー宮城光氏をお迎えし、レースという競争の世界で戦ってきた目線、サーキット走行と一般公道での走行の違いや注意点をわかりやすく解説しながら安全運転への取り組みについてお話いただきました。

学生は、あこがれの宮城さんに積極的に質問しながら、安全運転への意識を高めていました。



元ワークスライダー宮城氏による講話の様子

1年生モックアップ発表会

2月19日(金)、自動車研究開発科1年生は、9月の学生フォーミュラ日本大会に向けての「モックアップ発表会」を実施しました。このイベントは昨年末に自分達の造りたいマシンの「企画コンセプト評価会」で出た課題・問題点を解決しながら、実際の車両製作への最終判断をする「評価会」となっています。

このイベントの特長は、担当先生が質問や評価をするだけでなく、上級生も参加して過去の経験からアドバイスを行う事で、より広い視野での車両製作の手法を身に付ける事が出来、上級生も1年生のマシンを真剣に評価する事で、新たな発見も見えてくるホンダ学園ならではのイベントです。

1年生はたくさんの課題が見つかりましたが、みんなのチームワークで頑張ってくれてることでしょ!



経験を踏まえた上級生によるチェック



EVENT 金剛山登山にチャレンジしました



山頂で記念撮影

2月6日(土)、寮行事恒例の「金剛山登山」にチャレンジしました。この登山は、寮生全員が頂上を目指す目標を共有しながら、お互いの親睦を深める事を目的に実施しています。

この日は、例年の寒さは和らぎ、残念ながら樹氷を見る事は出来ませんでしたが、各グループに分かれて、声を掛け合いながら山頂に到着した時は、皆で達成感を味わっていました。また、山頂では神社にお参りして、「国家試験合格」「採用試験合格」をそれぞれ祈願し、全員無事に下山しました。

新任の挨拶

- 

教務1課 松村 哲郎

4月1日よりお世話になります。ホンダカース大阪に参りました松村と申します。本校への出向は今回で2回目になります。前回は18年前に1年間お世話になりました。18年間で学校も大きく変化していると思います。版社の仕事も大きく変化しています。直近は主にサービス関係の人材育成(研修等)をメインで担当していましたので、その経験を活かした上で、また一から勉強をしながら「社会に出て版社で働くには何が必要か?」と言う事を生徒の皆さんに伝えたいと思っています。宜しくお願い致します。
- 

教務1課 谷口 敬

4月1日付けでホンダモーターサイクルジャパンより、社会人講師として配属になりました谷口です。27年前、当校を卒業し二輪部門に進みました。その中で経験してきました事をお伝えしたいと思います。未熟ではありますが皆様へ充実した授業や、より実践的な事が出来るように思っておりますので、宜しくお願い致します。

転任の挨拶

- 

教務1課 荒木 仁

4月1日付けでSTC北関東へ異動になりました。関東校から転勤し、あつという間の2年間でした。2校通算7年間の教員生活で得たことを、次の仕事に活かしていきます。短い間でしたが、職員の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 

教務1課 寺戸 道夫

ホンダ学園では17年間という長きに渡り、卒業した学校の教員という立場で、これまで現場経験の深かった二輪車の授業を主に担当させていただきました。教育事情の変化、自動車技術の変化など、様々な時代の流れに戸惑いながら、機械では無く、人を相手に仕事をやる難しさを痛感しましたが、多くの方々に助けいただき成長することが出来ました。皆様、大変お世話になり、ありがとうございます。
- 

教務1課 田崎 勝三

4月から埼玉県の和光市に参ります法人営業のサービスに転勤します。ホンダ学園では、意義ある楽しい思い出を沢山作ることができました。学生の皆さんから若いエネルギーをいつも貰い、ホンダ学園でしか得られない貴重な経験をさせていただきました。これからの新しい職場で、これまでの経験を活かし頑張っていく次第であります。ありがとうございます。
- 

教務1課 田中 教貴

2年間という、短い期間では有りましたがお世話になりました。今まで、販売会社でのサービスという仕事に経験してない私が、こちらで何かやってこれたのは、教職員皆様のおかげと感謝申し上げます。こちらで経験したことを今後の仕事に活かしていきたいと思っております。また、ホンダカース大阪の社員として、お世話になることがあるかと思いますが、よろしくお願いたします。ありがとうございます。
- 

教務1課 山中 則仁

1月26日付けでホンダ学園を退職致しました。S46年にサービススタッフとしてホンダに入社し、45年間勤めあげてこれからの先輩並びに良き仲間になりたいと感謝致します。最後の職場のホンダ学園には17年間お世話になりました。多くの学生を版社様に送り出す事が出来、少しはホンダに対して恩返しが出来たかと思っています。今後は身体をしっかりとケアし、いろんな事にチャレンジしようと考えています。今までもお世話になった方々、本当に有り難うございました。
- 

教務2課 立花 洋介

4月1日付けで本田技研工業(株)サービス技術センターへ異動になりました。板木研究所でのエンジン開発から一転、研究開発科で技術者の卵を育てて、迷いながらの10年でした。社会へ送り出した卒業生が活躍している姿を励みにして、今日までやってこれました。皆様お世話になりました。ありがとうございました。
- 

学務室 阿部 幸雄

新入生のみんな、おめでとう!これから新しい人生の第一歩が始まりますね。ホンダ学園の創設者、本田宗一郎は、戦争の荒廃から日本経済を蘇らせ、今も世界中の人々の暮らしを支えているホンダスーパーカブを世に送り出した偉人です。皆様と共に、本田技研工業サービスサポートの一員として未来を築いていきます!ありがとうございます。